



石森 晃寿 議員

- 1、令和の果樹の花里づくりについて
- 2、幼児教育・保育の無償化について
- 3、東松島市行政組織規則等の見直しについて



▲金融教育



熊谷 昌崇 議員

- 1、金融教育について

金融教育について

新しい知識の学習も検討する

5月22日に、金融庁の審議会が資産寿命についての指針案をまとめた。人生100年時代とも言われる長寿社会において、どの様に資産を蓄えれば良いのかについて、長寿化に合わせた資産の寿命を延ばしていく必要があるとしている。要するに平均年齢が伸びているのだから、

老後の生活費を考えるべきとの提言と思われる。欧米各国は中学生の年齢から義務教育の一環として金融教育を行っている。これからの時代、終身雇用が崩壊していき、仕事もAIの導入により根本的に仕事の形が激変している時代において、生き抜くためには必須の知識

と、教育長

文部科学省においては、平成29年3月に告示した小学校および中学校学習指導要領において、経済に関連した内容として、買物の仕組み、消費者の役割、個人や企業の経済活動における役割と責任等を示している。

指導実例としては、中学校社会科学科のうち公民に

において、価格の動き、消費者の保護、租税の意義に関わる学習と共に、最近における金融経済の動き等の学習を行っている。教育委員会として、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小・中学校の家庭科や中学校社会科学科の学習と関連させて、今後とも経済状況を含めながら新しい知識の学習も組み入れていきたいと考えている。

令和の果樹の花里づくり

偕楽園を手本に試験栽培を実施

市で所有する野蒜地区の被災元地の有効利用について、「令和の果樹の花里づくり」と銘打って、令和元年にふさわしい壮大な構想を始動させた手腕は、市長に敬意を表する。その壮大な構想が具現化されることにより、雇用、観光、農産加工等の経済効果が期待されるが、以下

下の点について伺う。

市長

①この構想の実現に向けては、一定の財源が必要となる中で、国や県等から財源面での協力を得てまいりたいと考えている。

②11月に果樹の試験栽培を実施し、一定期間の後、果樹の種類が確定すると思うが、その後は、民間に事業主体を移すのか。

次に経済効果については、観光面で、花の活用として、水戸偕楽園をイメージした梅祭りなど、果実の活用としては、果実の摘み取り体験や加工

体験などにより、一層の交流人口増加を図りたい。

②11月頃に果樹の試験栽培を行っている。当面は市が主体となつて事業を進めるが、その後は、管理運営を行う事業所や農業者の参画が必要と考えており私としても近隣の事業所等への説明を開始したところである。

①この構想を具現化するには、財源が必要になるが、国や県の支援はあるか。また、具現化することにより、どのような経済効果が考えられるか。

②11月に果樹の試験栽培を実施し、一定期間の後、果樹の種類が確定すると思うが、その後は、民間に事業主体を移すのか。

次に経済効果については、観光面で、花の活用として、水戸偕楽園をイメージした梅祭りなど、果実の活用としては、果実の摘み取り体験や加工



▲水戸偕楽園をイメージした令和の果樹の花里づくり